

市川市市民活動団体支援金交付申請内容変更承認申請書

平成17年 6月 3日

市川市長 千葉 光行様

団体名 クリエイティブの会
代表者名 秋葉 成子
所在地 市川市市川1-18-3-204
電話 047(326)6527

市川市市民活動団体支援金の交付申請内容について、下記のとおり変更の承認を受けたいので、市川市納税者が選択する市民活動団体への支援に関する条例第11条第1項の規定により、申請します。

記

1. 事業の名称 夏期ワークショップ
2. 変更の理由 事業縮小のため
3. 変更の概要 会の発足のきっかけとなった^{ヴォルフガング シュタンゲ}Wolfgang Stange氏※を招いて
障害者・児と一般の人たちが身体表現をしながら、お互いの
創造性を分かち合う。

※ロンドン在中。障害者と健常者が一緒に踊るダンス集団^{アミキ}AMICIを

25年前から主催する。ヨーロッパ各地及びエジプト等を公演する。
スリランカ・アメリカ・日本等で障害者と健常者とのワークショップ
を開催している。

4. 変更後の事業費総額 40万9000円

5. 変更後の交付申請額 9万6900円

6. 添付書類

- (1) 市川市市民活動団体支援金申請事業計画書（様式第3号）
- (2) 市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書（様式第4号）



市川市市民活動団体支援金申請事業計画書

<p>事業の名称</p>	<p>夏期ワークショップ</p>	
<p>事業の目的、効果、 アピール等 ※別紙添付可</p>	<p>障害者・児は一般的には弱者で、支援を受ける側と思われがちである。また、コミュニケーションが巧くとれないので、汚い、変な人・子と倦厭されがちである。 しかし、一度付き合ってみれば私たちと大して変わりなく、臆することなく自分を表現してくれることに気づく。 今回、会を発足するきっかけとなった^{ヴォルフガング シュタンゲ}Wolfgang Stang氏を招き、身体表現をしながら、お互いの創造性を分かち合い、お互いを知るきっかけとなることを期待する。 ※ 活動歴別紙添付</p>	
<p>主な対象者</p>	<p>障害者・児と一般の人</p>	
<p>事業実施期間</p>	<p>平成17年7月23・24日(土・日)</p>	
<p>事業実施場所</p>	<p>市川市立養護学校 講堂</p>	
<p>業スケジュール</p>	<p>時期(月)</p>	<p>内容</p> <p>4月16日 定例会</p> <p>5月21日 ちばノーマライゼーション音楽会参加</p> <p>6月18日 定例会</p> <p>7月23日 夏期ワークショップ 20名程度</p> <p>24日</p> <p>8月20日 定例会</p> <p>9月17日 定例会</p> <p>10月15日 南村千里氏ワークショップ</p> <p>11月19日 定例会</p> <p>12月17日 定例会</p> <p>1月21日 定例会</p> <p>2月18日 B.B.モフラン氏ワークショップ</p> <p>3月18日 定例会</p> <p>※ 年間を通して、一般の人の参加を奨励</p>

市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書

事業の名称： 夏期ワークショップ

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
積立金	204,000	会員1,000円×17人×12月
参加費	100,000	一般参加者5,000×20人
補助金収入	96,900	市川市市民活動団体支援費
合 計	400,900	

2. 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
講師謝金	330,000	招聘元ミューズカンパニー
講師滞在費	25,000	宿泊費、昼食代、交通費等
人件費	35,000	通訳、会場設営ボランティア、ビデオ撮影人等
事業消耗品	10,900	ビデオテープ、ちらし印刷代、通信費等
合 計	400,900	

3. その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(はい ・ いいえ)

備考 支援金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に支援決定事業収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。